

2025 7月

鷹栖町図書室に新しくいった本

(6月分より)

たかす(一般)

『札幌誕生』(門井慶喜／河出書房新社)
『ああうれしい』(畠中恵／文藝春秋)

『署長サスペクション』(今野敏／講談社)
『ゴライの悪魔』(アイザック・バシェヴィス・シンガー／未知谷)
『令和版解体新書』(吉田大助／KADOKAWA)
『悠仁さま』(江森敬治／講談社ビーシー)
『日本の絶景北海道』(TAC株式会社出版事業部)
『中学受験のリアル』(矢野耕平／KADOKAWA)
『聞くのがこわい年金の話』(梅子の年金トーク！／興陽館)

たかす(児童)

『大ピンチずかん 3』(鈴木のりたけ／小学館)
『くだものららん』(金内織恵／童心社)

『ライオンのあしたのいちにち』(あべ弘士／佼成出版社)
『思いがけず、朝子ちゃん』(高村有／童心社)
『風はどこからくるのだろう』(吉野正敏／福音館書店)
『立ち直る力を育てる本』(小林朋子／ナツメ社)

きたの(一般)

『冷ややかな悪魔』(石田夏穂／U-NEXT)
『終わりなき対話』(谷川俊太郎／朝日出版社)

『YABUNONAKA-ヤブノナカ-』(金原ひとみ／文藝春秋)
『北海道キャンプ場&コテージガイド 2025-26』(花岡俊吾／北海道新聞社)
『「東大卒」の研究』(本田由紀／筑摩書房)
『物語のある元素図鑑』(ペズル／三オブックス)
『メジャーリーグに魅せられて』(向井万起男／さくら舎)

きたの(児童)

『あっゴジラ』(キューライス／朝日新聞出版)
『うみのそこできれいぼ』(紀平任益／みらいパブリッシング)

『金色の切手とオードリーの秘密』(オンジャリQ. ラウフ／静山社)
『天才少年オリバーの「宇宙」入門』(ジョージ・チャム／あすなろ書房)

☆新しくいった本は他にもございます。
図書室では新着図書のリストを配布して
おります。また、鷹栖町図書室の蔵書検
索から探すこともできます。



『闇をわたる』(堂場瞬一／文藝春秋)
『潮音 第4巻』(宮本輝／文藝春秋)
『それいけ！平安部』(宮島未奈／小学館)
『文化財に泊まる。』(偏愛はな子／エクスナレッジ)
『血と反抗』(石井光太／幻冬舎)
『図解がんとお金の話』(黒田ちはる／彩図社)
『学園ドラマは日本の教育をどう変えたか』(西岡吉誠／笠間書院)

『ひっくりかえるだいさくせん』(竹与井かこ／教育画劇)
『にゅーつでたよでたよ』(荒井良二／絵本塾出版)
『パンダおやすみだいそう』(いりやまさとし／講談社)
『妖怪一家九十九さん外伝』(富安陽子／理論社)
『5分後にエモい古典文学』(野月よひら／スターツ出版)
『新ざんねんないきもの事典』(今泉忠明 監修／高橋書店)

『掟上今日子の保険証』(西尾維新／講談社)
『ミス・パーフェクトの憂鬱』(横関大／幻冬舎)
『ゼロから俳句いきなり句会』(岸本葉子／笠間書院)
『井出真吾の投資相談室』(井出真吾／日経BP日本経済新聞出版)
『「国境なき医師団」をそれでも見に行く』(いとうせいこう／講談社)
『もふもふパンチニードル』(mmfum／KADOKAWA)
『農作物のひみつ』(日本作物学会 編／化学同人)

『パンダのおさじとせっけんパンダ』(柴田ケイコ／ポプラ社)
『さあ、めがねをかけよう！』(アナ・コーベン／偕成社)
『アミとミアのプリンセス・ドレス 2』(和田奈津子／KADOKAWA)
『みんなが知りたい！骨のすべて』(えぞホネ団Sapporo 監修／メイツユニバーサルコンテンツ)
『クラシック音楽への招待』(飯田有抄／音楽之友社)

ほか

～鷹栖町図書室の本はふるさとまちづくり応援寄附事業の寄附金を活用して購入しています～

図書室だより



8月3日(日)10時から夏のおたのしみ会「こども縁日」を行います。紙芝居グランプリ2024で優勝した音次郎さんの紙芝居や、ストラックアウト、ヨーヨー釣り、お面づくりなど、盛りだくさんの縁日です！申込み不要で、対象は幼児から小学生です。ぜひ遊びに来てください！



6月の本棚リレーは
楓さん(匿名希望)でした。



6月の「音楽のある図書室」は
松井幸子さんによる
シンセサイザーでした。